**農学研究科の教職員や学生あるいは家族が感染した場合の対応　ver.1**

**2020/3/30**

1. **本研究科の教職員や学生がCOVID-19に感染した場合**

感染した教職員や学生が行うこと

①早急に研究室、研究科長あるいは事務長に報告する

②有症状1.時に接触したと考えられる教職員や学生を研究室、研究科長あるいは事務長に伝える（可能であれば）

③検査が陰性化し、退院が決まったら研究室、研究科長あるいは事務長に報告する

研究室あるいは事務室が行うこと

①本研究科の教職員や学生の情報を研究科長および事務長と共有する

②濃厚接触した教職員や学生2.および発症前24時間以内に接触した教職員や学生のリストアップを行う

③感染した教職員が担当していた業務を他のスタッフへ分配する

④濃厚接触した教職員が複数名いる場合は、担当の変更を検討する

⑤発症24時間以内に接触した教職員や学生に対し、「感染した教職員や学生との最終接触から14日間以内に症状が出現した場合の報告」を指示する

研究科長および事務長が行うこと

①濃厚接触者の人数・範囲によっては、研究室あるいは事務室の入室制限等を検討する

②濃厚接触者の中から発症者（2次感染者）が出た場合には、24時間以内の接触者を自宅待機とし、2次感染者の濃厚接触者のリストアップを研究室あるいは事務室に依頼する

③発症した本研究科の教職員や学生の退院の際は、職務（就学）復帰のタイミング3.について検討する

感染した本研究科の教職員や学生の濃厚接触者が行うこと

①行政のSARS-CoV-2検査の有無・タイミング4.を研究室、研究科長あるいは事務長に報告する

②行政のSARS-CoV-2検査5.が陰性の場合であっても、発症した教職員や学生と最終接触してから14日間は出勤（登校）停止とする

③症状が出現した場合は、行政および研究室、研究科長あるいは事務長に報告する

**(2)本研究科の教職員や学生がCOVID-19患者に濃厚接触した場合**

濃厚接触した教職員や学生が行うこと

①研究室、研究科長あるいは事務長に報告する

②行政の指導に基づき14日間の自宅待機とする

③自宅待機中に発症した場合は、行政および研究室、研究科長あるいは事務長に報告する

研究室あるいは事務室がすること

①本研究科の教職員や学生の情報を研究科長および事務長と共有する

②濃厚接触した教職員や学生が自宅待機中に発症した場合は、研究科長あるいは事務長に報告する

**(3)本研究科の教職員や学生の同居家族がCOVID-19に感染した場合**

本研究科の教職員や学生が行うこと

①研究室、研究科長あるいは事務長に報告する

②行政指導に基づき家族と最終接触から14日間自宅待機とする

③症状が出現した場合には、行政および研究室、研究科長あるいは事務長に報告する

研究室あるいは事務室がすること

①本研究科の教職員や学生の情報を研究科長および事務長と共有する

②濃厚接触した教職員や学生が自宅待機中に発症した場合は、研究科長あるいは事務長に報告する

③教職員や学生自身が発症した場合、濃厚接触者ならびに24時間以内に接触した教職員や学生をリストアップする

④→以後は（1）を参照する

**(4)本研究科の教職員や学生の同居家族がCOVID-19患者に濃厚接触した場合**

本研究科の教職員や学生が行うこと

①状況を研究室、研究科長あるいは事務長に報告する

②家族の検査結果を研究室、研究科長あるいは事務長に報告する5.

③家族が自宅待機中（感染者と最終接触から14日間）は、本研究科の教職員や学生も自宅待機とする

④症状が家族あるいは本研究科の教職員や学生に出現した場合は、ただちに行政ならびに研究室、研究科長あるいは事務長に報告する

研究室あるいは事務室が行うこと

①本研究科の教職員や学生の情報を研究科長および事務長と共有する

②本研究科の教職員が担当する業務を制限するために、担当の変更を検討する

③本研究科の教職員や学生の勤務（就学）復帰のタイミングを研究科長および事務長と検討する

1. 37.5℃以上の発熱、あるいは感冒・上気道炎様症状

2. 濃厚接触者: 感染者に症状が出現したあとに、マスクを着用せずに有症状感染者と会話・同席・食事等の接触があった者（接触者自身がマスクをして手指衛生をしていれば、会議等で同席するといっただけでは濃厚接触とはならない）

3. 退院後に再燃する症例があるため、退院後も14日間の自宅待機が望ましい

4. 行政検査: 現時点（3/30）では、濃厚接触者は積極的疫学検査の適応となる

5. 行政による積極的疫学検査では、曝露直後ならびに数日間あけてもう一度検査が行われることがある



**COVID-19** は新型コロナウイルスウイルス（SARS-CoV-2)の感染症である

本対応は、「2020/3/19 ウィルス・再生医科学研究所の職員や学生あるいは家族が感染した場合の対応 ver.1」を参考とした